

計 画 編

5. 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

(1) 半田市の交通将来像

第6次半田市総合計画では、中心市街地における都市機能の集積やまちなか居住の推進によるにぎわいの創出、鉄道駅を活かした地域拠点の形成、駅周辺の交通拠点としての利便性向上を目指しています。また、半田市都市計画マスタープランでは、中心拠点において公的サービス・商業・文化などの都市機能の集積と土地の用途にあわせた高度な利用を図るとともに、地域拠点において鉄道駅周辺は日常生活に必要な機能の集積を図りつつ、中心拠点と連携することで地域の機能を補完することを目指しています。

更に、平成27年11月に都市計画事業JR東海武豊線半田駅付近連続立体交差事業協議会が設立され、周辺市街地整備等関連事業により、市街地の分断解消、踏切交通渋滞の解消及び商店街の活性化など、交通とまちづくりが一体となった検討を進めています。

これらより、半田市が目指す将来都市構造の構築を支援する公共交通ネットワークの再編に向け、交通将来像は、「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」と定めます。

そして、交通将来像の実現に向けて、中心拠点や地域拠点といった「拠点間の連携・協働」、半田市が目指す「まちづくりとの連携・協働」、山車文化を中心とした「観光や文化との連携・協働」、鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等の「多様な公共交通の連携・協働」、そして、市民をはじめとした「地域公共交通に関わる全ての関係者による連携・協働」を図り、地域住民が月に1回以上は乗りたくなる地域公共交通網の形成を目指します。



(2) 地域公共交通の基本方針

半田市の地域公共交通の課題及び半田市が目指す交通将来像を踏まえ、以下に地域公共交通の基本方針を示します。

「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」 の実現に向けて

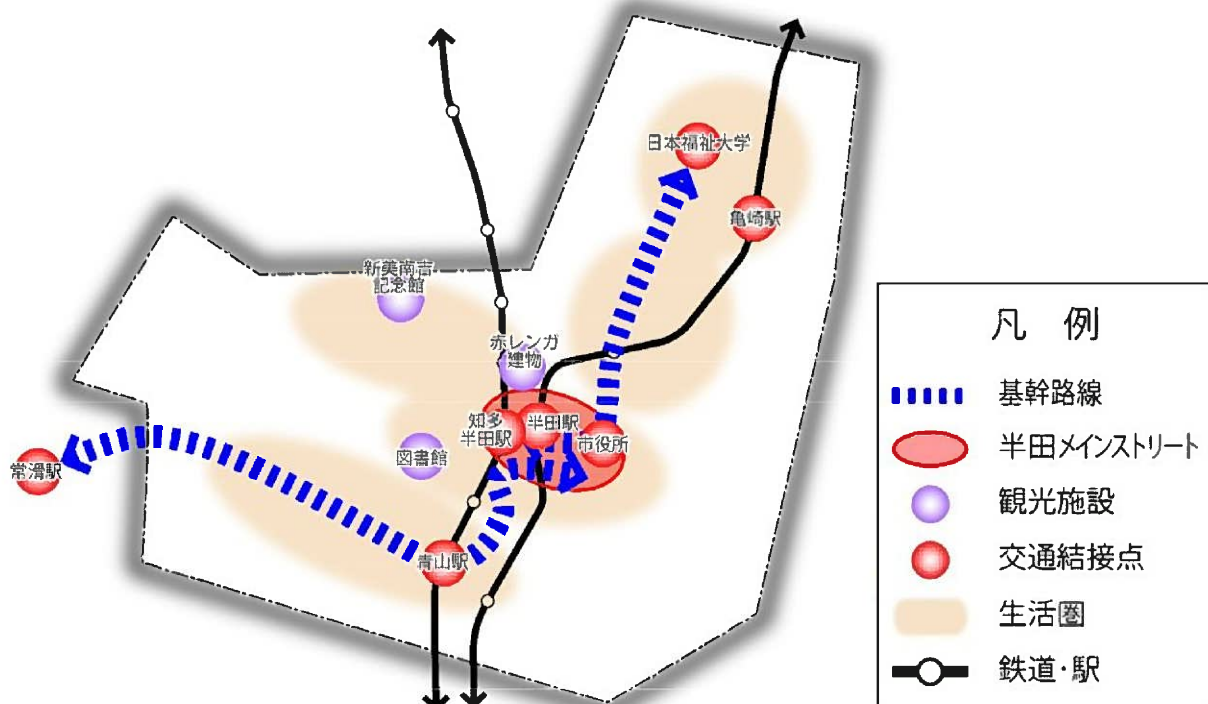
基本方針 1 半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編（地域・拠点・観光の連携・協働）
⇒課題①・④に対応

基本方針 2 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実（まちづくりと交通の連携・協働）
⇒課題②・④に対応

基本方針 3 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保（多様な公共交通の連携・協働）
⇒課題②・③に対応

基本方針 4 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築（地域公共交通に関わる関係者の連携・協働）
⇒課題①～④全てに対応

図 半田市における地域公共交通体系のイメージ



基本方針 1 半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編

鉄道駅周辺やバス路線沿線を中心とした市内広範に分布する人口集積地相互や中心拠点との移動ニーズに対応するため、公共交通ネットワークを再編し、各地域と中心拠点や地域拠点をつなぐ市域の一体性を強化します。

また、市内には、山車まつり、半田運河・蔵の街、新美南吉の生家・記念館、赤レンガ建物、ミツカンミュージアムなど、魅力的な歴史・文化資源を多く有するものの、鉄道やバスによるアクセスが困難な資源も存在するため、観光資源を回遊できる新たな公共交通ネットワークを形成し、半田市の魅力と利便性を向上します。

基本方針 2 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実

中心拠点内における公的サービス・医療・商業・観光など、多様な都市機能施設の集積・誘導を支援するとともに、各地域から移動ニーズが高い半田病院の利便性を確保するため、半田市都市計画マスタープランの活力創造軸のうち、知多半田駅～半田駅～市役所間を“半田メインストリート”と位置づけ、公共交通によるサービスを充実し、人が流れる大動脈としての交通機能を確保するとともに、人と人が交流する賑わいを創出します。

基本方針 3 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保

市内各地域では、最寄りの鉄道駅及び周辺に立地する商業・医療施設等を利用する生活圏が各地域で独自に形成されることから、地域住民のおでかけニーズに対応したきめ細かな地域レベルの公共交通サービスについて、地域住民が主体的に計画を策定し、路線を導入します。

また、地域レベルの公共交通サービスの計画策定にあたっては、単に公共交通空白地を埋めるのではなく、幹線路線との一体的な利用の中で、地域住民が月に1回以上は乗りたくなる移動手段として機能する公共交通サービスを確保します。

基本方針 4 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築

上記基本方針1～3の実施にあたっては、地域の公共交通として愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりが重要であり、更に、持続可能なものでなければなりません。

そのためには、交通事業者や半田市だけでなく、市民、自治会、各種団体等の地域公共交通に関わる全ての関係者が対等な立場で連携・協働することができる、公共交通を支え育む仕組みを構築します。特に地域内の移動手段の確保にあたっては、地域住民が主体となって路線の検討や利用促進策等の取り組みを進めます。

表 半田市地域公共交通条例における関係主体の責務・役割（条例より抜粋）

	関係主体の責務・役割
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する基本施策を総合的かつ計画的に策定し、これを実施しなければならない。 ・基本施策を実施するに当たっては、議会、市民及び自治区、事業者及び公共交通事業者並びに周辺自治体に理解を求め、その協力を得られるよう努めなければならない。 ・市民に対し、地域公共交通を積極的に利用することについての意識の啓発を行うよう努めなければならない。
議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する活動に主体的に参加するとともに、市長と市民及び自治区とを結び、連携して基本施策の立案及び推進に協力しなければならない。
市民及び自治区	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域公共交通を実現するための担い手の一員であることを自覚し、地域公共交通に対する理解を深めるよう努めるものとする。 ・自動車の過度な利用を控え、地域公共交通を積極的に利用するよう努めるものとする。 ・地域公共交通に関する活動に参画し、基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対し、地域公共交通を積極的に利用することについての意識の啓発を行うよう努めるものとする。 ・事業活動、従業員の通勤等において、自動車の過度な利用を控え、地域公共交通を利用するよう配慮するものとする。 ・基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。
公共交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・運営する地域公共交通について利用状況を把握するとともに、市民及び自治区の意見を十分に聴き、その運営に反映させるよう努めるものとする。 ・社会的な役割を認識した上で、地域公共交通の利便性を向上させるとともに、市長、市民及び自治区並びに事業者に対し、地域公共交通の利用に関する情報の積極的な提供等により、その利用を促進するよう努めるものとする。 ・基本施策の推進に協力するよう努めるものとする。



6. 計画の区域と計画期間

(1) 半田市地域公共交通網形成計画の区域

本計画は、市内公共交通全体の再編を一体的に取り扱うことから、計画区域は半田市全域とします。

なお、隣接市町との連携にあたっては、個別に協議・調整を図ります。

(2) 半田市地域公共交通網形成計画の計画期間

上位・関連計画である第6次半田市総合計画及び半田市都市計画マスタープランの目標年度は平成32年度であり、次期、半田市地域公共交通網形成計画は、これら上位・関連計画で示される将来都市像の更新を踏まえた市民等の移動ニーズの変化に対応する必要があるため、本計画の計画期間は平成30年度～34年度までの5か年とします。

なお、計画期間内であっても、公共交通の利便性や安全性に配慮した個別見直しは、適切な時期に実施します。

7. 計画の目標

半田市が目指す交通将来像の達成度を検証するため、地域公共交通の基本方針に基づき、4つの目標及び目標値を設定します。

交通将来像

「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」

半田市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

全体目標 「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現
目標値 市内公共交通利用者数の増加
普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上



基本方針1 半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編

目標1 公共交通が多様な目的で利用されます。
目標値1 普段の生活の中で公共交通利用を利用する人の割合の増加
観光資源へ行く際に公共交通を利用する人数の増加

基本方針2 半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実

目標2 公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。
目標値2 中心拠点内へ来訪する際に公共交通を利用する人数の増加

基本方針3 各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保

目標3 地区路線が普段のおでかけで利用されます。
目標値3 公共交通で目的地に行くことができる割合の増加

基本方針4 関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築

目標4 公共交通への関心や愛着が高まります。
目標値4 地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数

表 目標値の設定[総括表]

計画全体の目標値	市内の公共交通利用者数（鉄道+バス+タクシー）の増加			
	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	
	市内の公共交通利用者数	44,600 人/日	40,000 人/日	
	うち鉄道利用者数	42,000 人/日	39,000 人/日	
	うちバス利用者数	2,600 人/日	1,000 人/日	
	うちタクシー利用者数	人/日	人/日	
	普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上			
目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]		
公共交通利用者の満足度	30%以上	17%		
基本方針 1 の目標値	普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加			
	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	
	駅に行く際に 公共交通を利用する人の割合	10%以上	5%	
	病院・買物・公的機関等に行く際に 公共交通を利用する人の割合	10%以上	7%	
	観光資源へ行く際に公共交通を利用する人数の増加			
目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]		
観光資源最寄りバス停の利用者数	10,000 人	4,400 人		
基本方針 2 の目標値	中心拠点内へ来訪する際に公共交通（鉄道+バス+タクシー）を利用する人数の増加			
	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	
	中心拠点内における公共交通利用者数	17,000 人/日	15,400 人/日	
	うち鉄道利用者数	16,000 人/日	15,000 人/日	
	うちバス利用者数	1,000 人/日	400 人/日	
うちタクシー利用者数	人/日	人/日		
基本方針 3 の目標値	公共交通で目的地に行くことができる割合の増加			
	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	
	公共交通で目的地に 行くことができる割合	市平均 67%	半田中学校区	49%
			乙川中学校区	50%
亀崎中学校区			54%	
成岩中学校区			53%	
青山中学校区			52%	
		市平均	51%	
基本方針 4 の目標値	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数			
	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	
	地域が関係者と連携・協働した 取り組みの件数	年間 5 件以上	—	

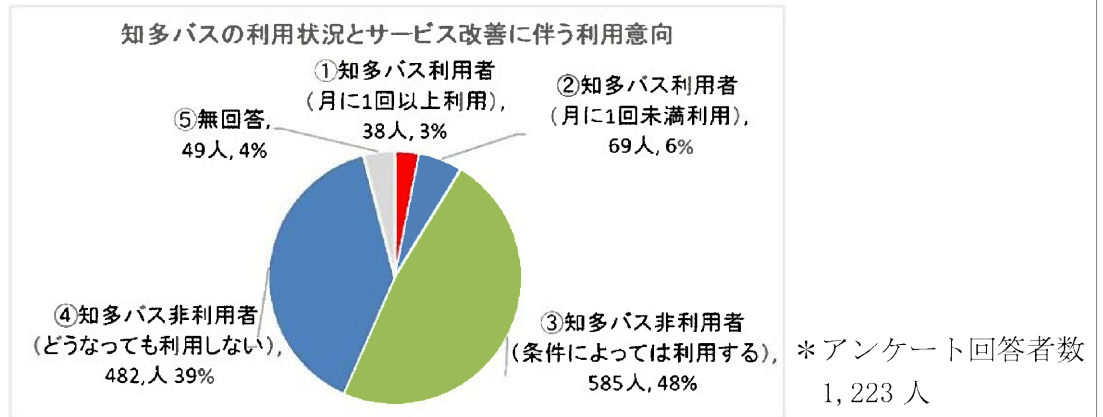
※計画全体及び基本方針 2 の目標値、現況値の赤字はタクシー利用者数を含んでいない

表 目標値の設定根拠[計画全体(1/3)]

交通将来像	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」																																								
全体目標	「おでかけ環境が充実した 住み続けたいまち 半田」の実現																																								
目標値	<p>市内の公共交通利用者数（鉄道+バス+タクシー）の増加</p> <table border="1" data-bbox="376 409 1441 678"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値[H34]</th> <th>現況値[H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内の公共交通利用者数</td> <td>44,600 人/日</td> <td>40,000 人/日</td> </tr> <tr> <td>うち鉄道利用者数</td> <td>42,000 人/日</td> <td>39,000 人/日</td> </tr> <tr> <td>うちバス利用者数</td> <td>2,600 人/日</td> <td>1,000 人/日</td> </tr> <tr> <td>うちタクシー利用者数</td> <td>人/日</td> <td>人/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 現況値の鉄道利用者数は推計値、バス及びタクシー利用者数は実績値</p> <p>普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度の向上</p> <table border="1" data-bbox="376 813 1441 969"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値[H34]</th> <th>現況値[H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共交通利用者の満足度</td> <td>30%以上</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	市内の公共交通利用者数	44,600 人/日	40,000 人/日	うち鉄道利用者数	42,000 人/日	39,000 人/日	うちバス利用者数	2,600 人/日	1,000 人/日	うちタクシー利用者数	人/日	人/日	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	公共交通利用者の満足度	30%以上	17%																			
目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]																																							
市内の公共交通利用者数	44,600 人/日	40,000 人/日																																							
うち鉄道利用者数	42,000 人/日	39,000 人/日																																							
うちバス利用者数	2,600 人/日	1,000 人/日																																							
うちタクシー利用者数	人/日	人/日																																							
目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]																																							
公共交通利用者の満足度	30%以上	17%																																							
現況値及び目標値の設定根拠	<p>市内の公共交通利用者数</p> <p><鉄道利用者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「H29 知多半島の統計」より、市内鉄道駅日平均利用者数の推移から現況値（H28）約 39,000 人/日、目標値約 42,000 人/日を推計（半田口駅は非公表のため含んでいない。） <div data-bbox="400 1285 1401 1883"> <p style="text-align: center;">市内鉄道駅日平均利用者数の推移</p> <table border="1"> <caption>市内鉄道駅日平均利用者数の推移 (推計値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>名鉄河和線 (人/日)</th> <th>JR武豊線 (人/日)</th> <th>合計 (人/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>25,000</td><td>11,130</td><td>36,130</td></tr> <tr><td>H22</td><td>25,000</td><td>11,434</td><td>36,434</td></tr> <tr><td>H23</td><td>25,000</td><td>12,128</td><td>37,128</td></tr> <tr><td>H24</td><td>25,000</td><td>14,260</td><td>39,260</td></tr> <tr><td>H25</td><td>25,000</td><td>12,680</td><td>37,680</td></tr> <tr><td>H26</td><td>25,000</td><td>13,822</td><td>38,822</td></tr> <tr><td>H27</td><td>25,000</td><td>14,000</td><td>39,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25,000</td><td>14,000</td><td>39,000</td></tr> <tr><td>H34</td><td>25,000</td><td>17,000</td><td>42,000</td></tr> </tbody> </table> </div> <p><バス利用者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バス乗降調査 (H28 年度実施)」より、市内バス停利用者数の現況値 (H28) は約 1,000 人/日 	年度	名鉄河和線 (人/日)	JR武豊線 (人/日)	合計 (人/日)	H21	25,000	11,130	36,130	H22	25,000	11,434	36,434	H23	25,000	12,128	37,128	H24	25,000	14,260	39,260	H25	25,000	12,680	37,680	H26	25,000	13,822	38,822	H27	25,000	14,000	39,000	H28	25,000	14,000	39,000	H34	25,000	17,000	42,000
年度	名鉄河和線 (人/日)	JR武豊線 (人/日)	合計 (人/日)																																						
H21	25,000	11,130	36,130																																						
H22	25,000	11,434	36,434																																						
H23	25,000	12,128	37,128																																						
H24	25,000	14,260	39,260																																						
H25	25,000	12,680	37,680																																						
H26	25,000	13,822	38,822																																						
H27	25,000	14,000	39,000																																						
H28	25,000	14,000	39,000																																						
H34	25,000	17,000	42,000																																						

表 目標値の設定根拠[計画全体(2/3)]

・「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査（平成28年度実施）」より、知多バスの利用状況とサービス改善された場合の利用意向は下図に示すとおり



・本計画における交通将来像は、「地域住民が月に1回以上は乗りたくなる地域公共交通網の形成」を交通将来像で目指している

・この将来像の実現に向け、バス利用状況（月に1回以上と1回未満の利用で区分）とサービス改善に伴う利用意向に利用転換率を加味することで目標値（H34）を推計

	知多バス 利用状況	サービス 改善に伴う 利用意向	回答者数 割合	月に1回 以上 利用転換率	月に1回 以上 利用割合	月に1回 未満 利用割合
①	月に1回 以上利用	—	3% (38人)	100%	3%	0%
②	月に1回 未満利用	—	6% (69人)	30%	2% (6%×30%)	4% (6%-2%)
③	利用して いない	条件によっ ては利用	48% (585人)	10%	5% (48%×10%)	43% (48%-5%)
④	利用して いない	どうなっても 利用しない	39% (482人)	0%	0%	0%
⑤	無回答	—	4% (49人)	0%	0%	0%
計	—	—	100% (1,223人)	—	—	—

※月に1回以上利用転換率は、「バスサービスハンドブック（土木学会）」を参考に、実行確率をバス利用者は30%、バス非利用者は10%と設定

・これら条件設定より、半田市人口約120,000人をベースとしたバス利用者数の目標値を以下のように設定

$$\begin{aligned}
 & \text{①} : 120,000 \text{人} \times 3\% \times 12 \text{回 (月1回)} \quad / 365 \text{日} = 118 \text{人/日} \\
 & \left[\begin{aligned}
 & \text{②-1} : 120,000 \text{人} \times 2\% \times 12 \text{回 (月1回)} \quad / 365 \text{日} = 79 \text{人/日} \\
 & \text{②-2} : 120,000 \text{人} \times 4\% \times 6 \text{回 (2月に1回と設定)} \quad / 365 \text{日} = 79 \text{人/日} \\
 & \text{③-1} : 120,000 \text{人} \times 5\% \times 12 \text{回 (月1回)} \quad / 365 \text{日} = 197 \text{人/日} \\
 & \text{③-2} : 120,000 \text{人} \times 43\% \times 6 \text{回 (2月に1回と設定)} \quad / 365 \text{日} = 848 \text{人/日}
 \end{aligned} \right. \\
 & \text{上記①～③-2の利用者数の合計は} 1,311 \text{人/日} \\
 & \Rightarrow \text{乗降者数で換算した場合は約} 2,600 \text{人/日}
 \end{aligned}$$

現況値及び
目標値の
設定根拠

表 目標値の設定根拠[計画全体 (3/3)]

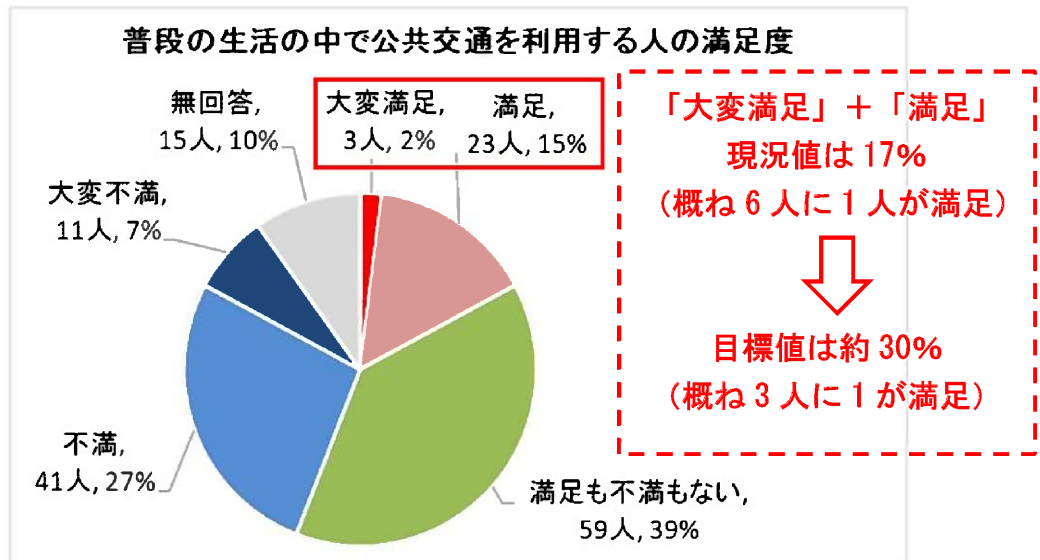
<タクシー利用者数>

- ・タクシー会社提供データより、市内タクシー利用者数はの現況値 (H28) は約 〇〇 人/日、これら利用者数の推移から、目標年度 (H34) は約 〇〇 人/日と推計
- ・これら公共交通交通手段別利用者数を集計した結果、市内公共交通利用者数は、現況値 (H28) 約 40,000 人/日、目標値 (H34) 約 44,600 人/日となる

普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度

- ・「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査 (平成 28 年度実施)」より、公共交通利用者が普段の生活の中で公共交通を利用する人の満足度は下図に示すとおり
- ・現況 (H28) の満足度は、大変満足 2% + 満足 15% = 17% となり、「概ね 6 人に 1 人が満足」している
- ・現状の「概ね 6 人に 1 人が満足」を目標では「概ね 3 人に 1 人が満足」まで高めると設定した場合の目標値は約 30% となる

現況値及び
目標値の
設定根拠



* アンケート回答者数 1,223 人のうち当該設問での公共交通利用者数は 152 人

参考：東浦町地域公共交通網形成計画における満足度設定

住民の公共交通機関への満足度は現状 34.6%⇒目標 40.6%

町運行バス「う・ら・ら」の満足度は現状 21.8%⇒目標 33.3%

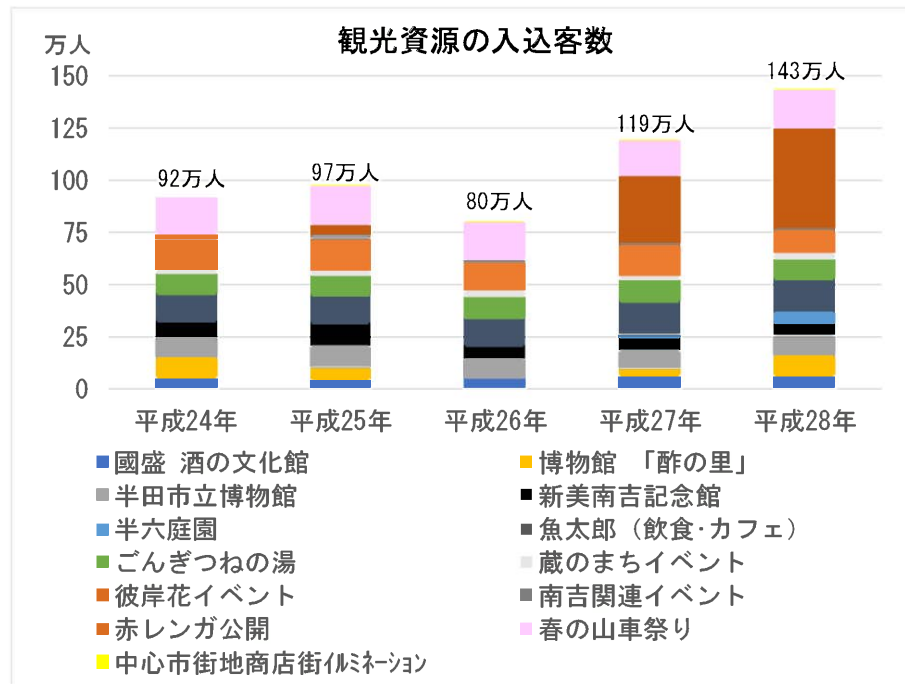
表 目標値の設定根拠[基本方針1 (1/2)]

基本方針	半田市の一体性の強化及び観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編															
目標	公共交通が多様な目的で利用されます。															
目標値	<p>普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合の増加</p> <table border="1" data-bbox="375 409 1441 656"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値 [H34]</th> <th>現況値 [H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅に行く際に公共交通を利用する人の割合</td> <td>10%以上</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合</td> <td>10%以上</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>観光資源へ行く際に公共交通を利用する人数の増加</p> <table border="1" data-bbox="375 741 1441 842"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値 [H34]</th> <th>現況値 [H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光資源最寄りバス停の利用者数</td> <td>11,400人</td> <td>4,400人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 現況値の鉄道利用者数は推計値、バス及びタクシー利用者数は実績値</p>	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	駅に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	5%	病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	7%	目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]	観光資源最寄りバス停の利用者数	11,400人	4,400人
目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]														
駅に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	5%														
病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合	10%以上	7%														
目標とする指標	目標値 [H34]	現況値 [H28]														
観光資源最寄りバス停の利用者数	11,400人	4,400人														
現況値及び目標値の設定根拠	<p>普段の生活の中で公共交通を利用する人の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査（平成28年度実施）」より、普段の生活の中で公共交通（鉄道+バス+タクシー）を利用する人の割合を算出 市民アンケート回答者数1,223人のうち、鉄道駅に行く際に公共交通を利用する人は60人、約5% 市民アンケート回答者数1,223人のうち、病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人は82人、約7% 鉄道駅や病院・買物・公的機関等に行く際に「10人に1人は公共交通を利用」することを目標とし、目標値は10%と設定 <div data-bbox="826 1144 1441 1525"> <p>鉄道駅に行く際に公共交通を利用する人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>公共交通利用</td> <td>60人, 5%</td> </tr> <tr> <td>公共交通以外の利用</td> <td>1,163人, 95%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="826 1552 1441 1933"> <p>病院・買物・公的機関等に行く際に公共交通を利用する人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>公共交通利用</td> <td>82人, 7%</td> </tr> <tr> <td>公共交通以外の利用</td> <td>1,141人, 93%</td> </tr> </table> </div>	公共交通利用	60人, 5%	公共交通以外の利用	1,163人, 95%	公共交通利用	82人, 7%	公共交通以外の利用	1,141人, 93%							
公共交通利用	60人, 5%															
公共交通以外の利用	1,163人, 95%															
公共交通利用	82人, 7%															
公共交通以外の利用	1,141人, 93%															

表 目標値の設定根拠[基本方針1 (2/2)]

観光資源へ行く際に公共交通を利用する人数

- ・半田市資料より観光資源の入込客数は下図に示すとおり、近年大きく増加し、H28年度現在約143万人



現況値及び
目標値の
設定根拠

* 観光資源は、本計画に基づく路線再編により、バスアクセスが可能と考えられる施設を対象とした

* H26 は博物館酔の里が一時閉館、赤レンガが耐震工事のため、入込客数に含まれていない

- ・「バス乗降調査 (H28 年度実施)」より、観光資源の最寄りバス停 (半田運河・蔵の街バス停及び図書館・博物館前バス停) の日平均利用者数12人より、年換算した現況値 (H28) は約4,400人
- ・本計画の基本方針で示すように、観光資源を回遊できる公共交通ネットワークの再編により、観光資源へのアクセス利便性を高めるものとしている
- ・これらより、観光資源最寄りバス停の利用者数は、現況値約4,400人に、計画全体の目標値設定で算出したバス利用者数の増加率 (目標値 2,600人/現況値 1,000人 = 増加率 2.6倍) を乗じることで、目標値約11,400人と設定

表 目標値の設定根拠[基本方針2]

基本方針	半田メインストリートにおける公共交通サービスの充実															
目標	公共交通が中心拠点への来訪手段として利用されます。															
目標値	<p>中心拠点内へ来訪する際に公共交通（鉄道+バス+タクシー）を利用する人数の増加</p> <table border="1" data-bbox="373 450 1437 750"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値[H34]</th> <th>現況値[H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心拠点内における公共交通利用者数</td> <td>17,000 人/日</td> <td>15,400 人/日</td> </tr> <tr> <td>うち鉄道利用者数</td> <td>16,000 人/日</td> <td>15,000 人/日</td> </tr> <tr> <td>うちバス利用者数</td> <td>1,000 人/日</td> <td>400 人/日</td> </tr> <tr> <td>うちタクシー利用者数</td> <td>人/日</td> <td>人/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>*鉄道は知多半田駅及び半田駅利用者数、バスは知多半田駅、末広町、銀座本町、半田運河・蔵の街、半田駅前、市役所の各バス停利用者数、タクシーは知多半田駅～市役所間のメインストリート区間の利用者数</p>	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	中心拠点内における公共交通利用者数	17,000 人/日	15,400 人/日	うち鉄道利用者数	16,000 人/日	15,000 人/日	うちバス利用者数	1,000 人/日	400 人/日	うちタクシー利用者数	人/日	人/日
目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]														
中心拠点内における公共交通利用者数	17,000 人/日	15,400 人/日														
うち鉄道利用者数	16,000 人/日	15,000 人/日														
うちバス利用者数	1,000 人/日	400 人/日														
うちタクシー利用者数	人/日	人/日														
現況値及び目標値の設定根拠	<p>中心拠点へ来訪する際に公共交通を利用する人数</p> <p><中心拠点内の鉄道駅利用者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「H29 知多半島の統計（鉄道駅利用者数は H27 年度集計）」より、中心拠点内に存する知多半田駅及び半田駅の日平均利用者数は、先の市内鉄道駅日平均利用者数の推移を参考に、現況値（H28）は約 15,000 人/日、目標値は約 16,000 人/日と推計 <p><中心拠点内のバス停利用者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バス乗降調査（H28 年度実施）」より、中心拠点内のバス停利用者数は平日平均で約 400 人/日 ・バス利用者数の目標値は、全体計画において現況値約 1,000 人/日から目標値約 2,600 人/日への増加（2.6 倍）を目指していることから、中心拠点内のバス停利用者数も同様、現況値約 400 人/日に 2.6 を乗じた約 1,000 人/日を目標値に設定 <p><中心拠点内のタクシー利用者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者者データより、現況値は約 人/日、目標値は利用者推移から約 人/日と推計 <ul style="list-style-type: none"> ・これらより、中心拠点内の公共交通（鉄道+バス+タクシー）利用者数は、現況値（H28）約 15,400 人、目標値（H34）約 17,000 人となる <div data-bbox="890 1507 1437 2047"> <table border="1"> <caption>中心拠点内の公共交通利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>鉄道 (人/日)</th> <th>バス (人/日)</th> <th>タクシー (人/日)</th> <th>合計 (人/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>15,000</td> <td>400</td> <td>0</td> <td>15,400</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>16,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> <td>17,000</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	鉄道 (人/日)	バス (人/日)	タクシー (人/日)	合計 (人/日)	H28	15,000	400	0	15,400	H34	16,000	1,000	0	17,000
年度	鉄道 (人/日)	バス (人/日)	タクシー (人/日)	合計 (人/日)												
H28	15,000	400	0	15,400												
H34	16,000	1,000	0	17,000												

表 目標値の設定根拠[基本方針3]

基本方針	各生活圏のおでかけニーズに対応した公共交通サービスの確保																																										
目標	地区路線が普段のおでかけで利用されます。																																										
目標値	<p>公共交通で目的地に行くことができる割合の増加</p> <table border="1" data-bbox="373 407 1437 757"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値[H34]</th> <th>現況値[H28]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">公共交通で目的地に行くことができる割合</td> <td rowspan="6">市平均 67%</td> <td>半田中学校区 49%</td> </tr> <tr> <td>乙川中学校区 50%</td> </tr> <tr> <td>亀崎中学校区 54%</td> </tr> <tr> <td>成岩中学校区 53%</td> </tr> <tr> <td>青山中学校区 52%</td> </tr> <tr> <td>市平均 51%</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]	公共交通で目的地に行くことができる割合	市平均 67%	半田中学校区 49%	乙川中学校区 50%	亀崎中学校区 54%	成岩中学校区 53%	青山中学校区 52%	市平均 51%																															
目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]																																									
公共交通で目的地に行くことができる割合	市平均 67%	半田中学校区 49%																																									
		乙川中学校区 50%																																									
		亀崎中学校区 54%																																									
		成岩中学校区 53%																																									
		青山中学校区 52%																																									
		市平均 51%																																									
現況値及び目標値の設定根拠	<p>公共交通で目的地へ行くことができる割合</p> <p>・「半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査（平成28年度実施）」より、徒歩+バス・鉄道のみで目的地へ到達できる割合は下図に示すとおり</p> <div data-bbox="381 992 1378 1554"> <table border="1" data-bbox="381 992 1378 1444"> <caption>公共交通で目的地に行くことができる割合</caption> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>十分できる</th> <th>できないことはない</th> <th>できない</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半田中</td> <td>27.8%</td> <td>21.6%</td> <td>19.2%</td> <td>2.6%</td> <td>28.9%</td> </tr> <tr> <td>乙川中</td> <td>27.4%</td> <td>22.2%</td> <td>14.3%</td> <td>6.1%</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>亀崎中</td> <td>30.6%</td> <td>23.9%</td> <td>15.2%</td> <td>3.0%</td> <td>27.3%</td> </tr> <tr> <td>成岩中</td> <td>32.9%</td> <td>20.0%</td> <td>14.5%</td> <td>3.0%</td> <td>29.7%</td> </tr> <tr> <td>青山中</td> <td>24.8%</td> <td>27.1%</td> <td>13.9%</td> <td>3.0%</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>半田市平均</td> <td>28.4%</td> <td>22.8%</td> <td>15.7%</td> <td>3.6%</td> <td>29.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 目標値は公共交通で目的地に行くことが「できない」方が「できる」に転換</p> <p>■ 十分できる ■ できないことはない ■ できない ■ わからない ■ 無回答</p> </div> <p>* アンケート回答者数:1,173人(学区不明分を除く)、公共交通とは鉄道、バス及び徒歩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況値は、目的地へ行くことが「十分できる+できないことはない」を合計した割合とし、現況値は市平均約51%となる ・地区路線の導入により、普段のおでかけにおいて公共交通で目的地へ行くことが「現況できない方約16%」が「将来できるに転換する」ことを目標とした結果、目標値は市平均約67% (51%+16%) となる ・なお、地区路線の導入等取り組みの有無により、目的地への到達度は変化することから、現況値は地区別（中学校区別）の値も掲載する 	地区	十分できる	できないことはない	できない	わからない	無回答	半田中	27.8%	21.6%	19.2%	2.6%	28.9%	乙川中	27.4%	22.2%	14.3%	6.1%	30.0%	亀崎中	30.6%	23.9%	15.2%	3.0%	27.3%	成岩中	32.9%	20.0%	14.5%	3.0%	29.7%	青山中	24.8%	27.1%	13.9%	3.0%	31.2%	半田市平均	28.4%	22.8%	15.7%	3.6%	29.5%
地区	十分できる	できないことはない	できない	わからない	無回答																																						
半田中	27.8%	21.6%	19.2%	2.6%	28.9%																																						
乙川中	27.4%	22.2%	14.3%	6.1%	30.0%																																						
亀崎中	30.6%	23.9%	15.2%	3.0%	27.3%																																						
成岩中	32.9%	20.0%	14.5%	3.0%	29.7%																																						
青山中	24.8%	27.1%	13.9%	3.0%	31.2%																																						
半田市平均	28.4%	22.8%	15.7%	3.6%	29.5%																																						

表 目標値の設定根拠[基本方針4]

基本方針	関係者が連携・協働し公共交通を支え育む仕組みの構築		
目標	公共交通への関心や愛着が高まります。		
目標値	地域が関係者と連携・協働した取り組みの件数		
	目標とする指標	目標値[H34]	現況値[H28]
現況値及び 目標値の 設定根拠	地域が関係者と連携・協働 した取り組みの件数	年間5件以上	—
	*地域には、地域住民を始め、地域の各種団体、企業、事業者を含む		
現況値及び 目標値の 設定根拠	地域が関係者と連携・協働した取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は、地域に愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりが重要 ・更に、持続可能なものとするため、地域公共交通に関わる全ての関係者が対等な立場で連携・協働し、公共交通を支え育む仕組みの構築が必要 ・地域内の移動手段の確保にあたっては、地域が主体となりつつ、市を始めとした関係者が連携・協働した取り組みを推進することを基本方針に示している ・これらより、目標とする指標を地域と市が連携・協働した取り組みの件数とし、目標値は年間5件以上と設定 		

8. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

(1) 公共交通の種類とサービス水準の設定

半田市においては、名鉄河和線及びJR武豊線が都市間移動需要に対処する公共交通路線として南北方向に運行しており、これら鉄道駅端末として人口集積地や主要集客施設を結ぶ知多バスにより公共交通ネットワークを形成しています。

しかし、公共交通の利用状況や各種ニーズ調査結果から、半田市における地域公共交通の課題が抽出され、多様な連携・協働に係る基本方針を定めました。

ここでは、先に設定した計画の目標を達成するために行う事業・実施主体を整理する上で、半田市の公共交通ネットワークを構成する鉄道、バス及びタクシーの各路線に期待する機能をはじめ、路線機能に基づくサービス確保の考え方などを以下に整理します。

図 公共交通ネットワークのイメージ図

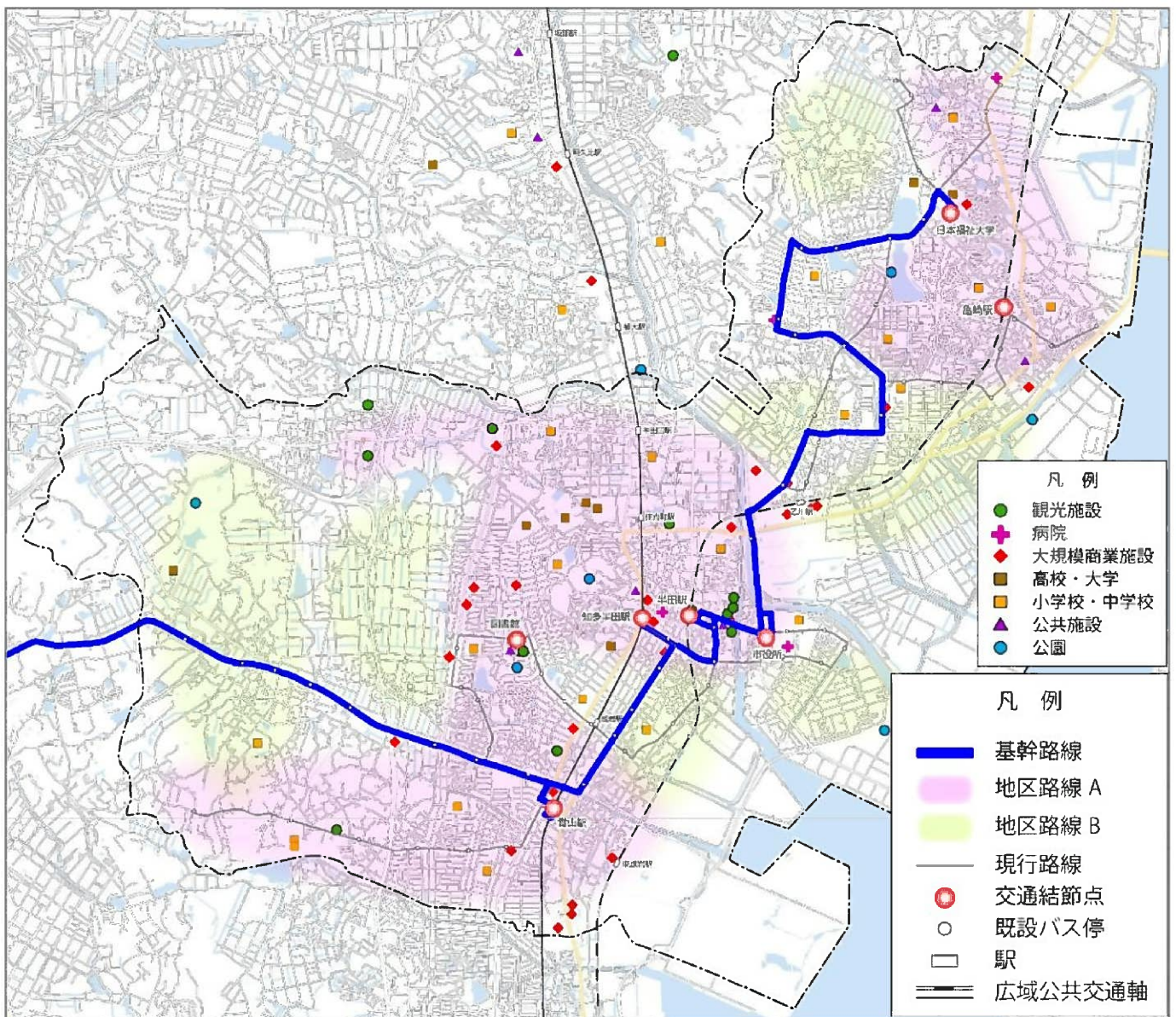


表 半田市の地域公共交通の路線機能に基づくサービス確保の考え方

種類	路線機能	サービス確保の考え方	運営主体	料金体系	該当する路線・エリア
広域公共交通軸	隣接市町や名古屋市方向を結ぶ都市間移動ニーズに対応する路線	<ul style="list-style-type: none"> ・移動ニーズに応じた現行サービス水準を確保 ・交通事業者が主体的に運行 	交通事業者	対キロ制運賃	JR武豊線 名鉄河和線
基幹路線	市内人口集積地と中心拠点を結ぶ路線 市域の一体性を強化し、半田市の魅力を創出する路線 半田メインストリートにおける移動の利便性を確保	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね30分に1本の運行 ・運行時間帯は6～21時台 ・交通事業者が主体的に運行 	交通事業者	対キロ制運賃 200円/乗車 上限	常滑線 (仮称) 北部幹線 (仮称) 中央幹線
地区路線A	既存路線バスによるサービスが提供されていた地区や主要観光地を結ぶ移動ニーズに対応する路線	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね60分に1本の運行 ・基幹路線との競合に留意したルート及びダイヤを設定 ・半田市と地域住民が協働で路線を導入 	半田市・ 地域住民	均一料金 100円/乗車	亀崎・有脇地区 青山・成岩地区 岩滑地区
地区路線B	基幹路線や地区路線Aがサービスされない地区の移動ニーズに対応する路線	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の移動ニーズに応じた手段、手法及びサービス水準を確保 ・基幹路線や地区路線Aとの競合に留意したルート、ダイヤ及び運行形態を設定 ・半田市の支援の下、地域住民が主体的に路線を導入 	地域住民 (半田市が支援)	均一料金 100円/乗車	基幹路線や地区路線Aがサービスされない地区
タクシー	個別の移動ニーズに対応するとともに、上記公共交通が運行されない時間帯や地域の移動ニーズに対応	<ul style="list-style-type: none"> ・上記公共交通が運行されない時間帯や地域の移動ニーズに応じたサービス水準を確保 ・交通事業者が主体的に運行 	交通事業者	対キロ制運賃	乗合タクシー タクシー

(2) 公共交通ネットワークの再編

1) 公共交通ネットワークの再編の方向性

公共交通の種類とサービス水準の設定を踏まえ、本計画における公共交通ネットワーク再編の方向性を以下に示します。

図 基本方針と公共交通ネットワーク再編の方向性

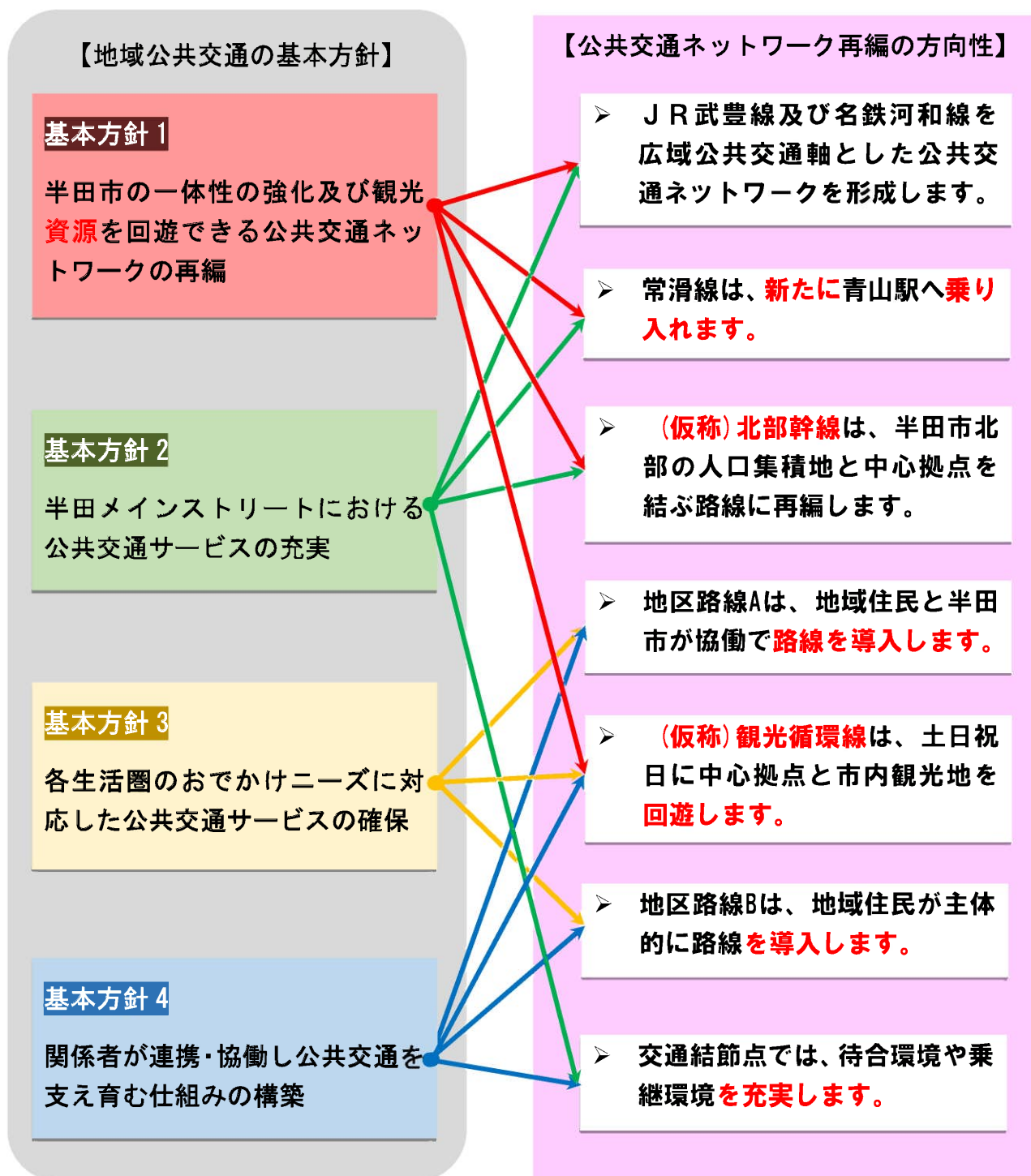
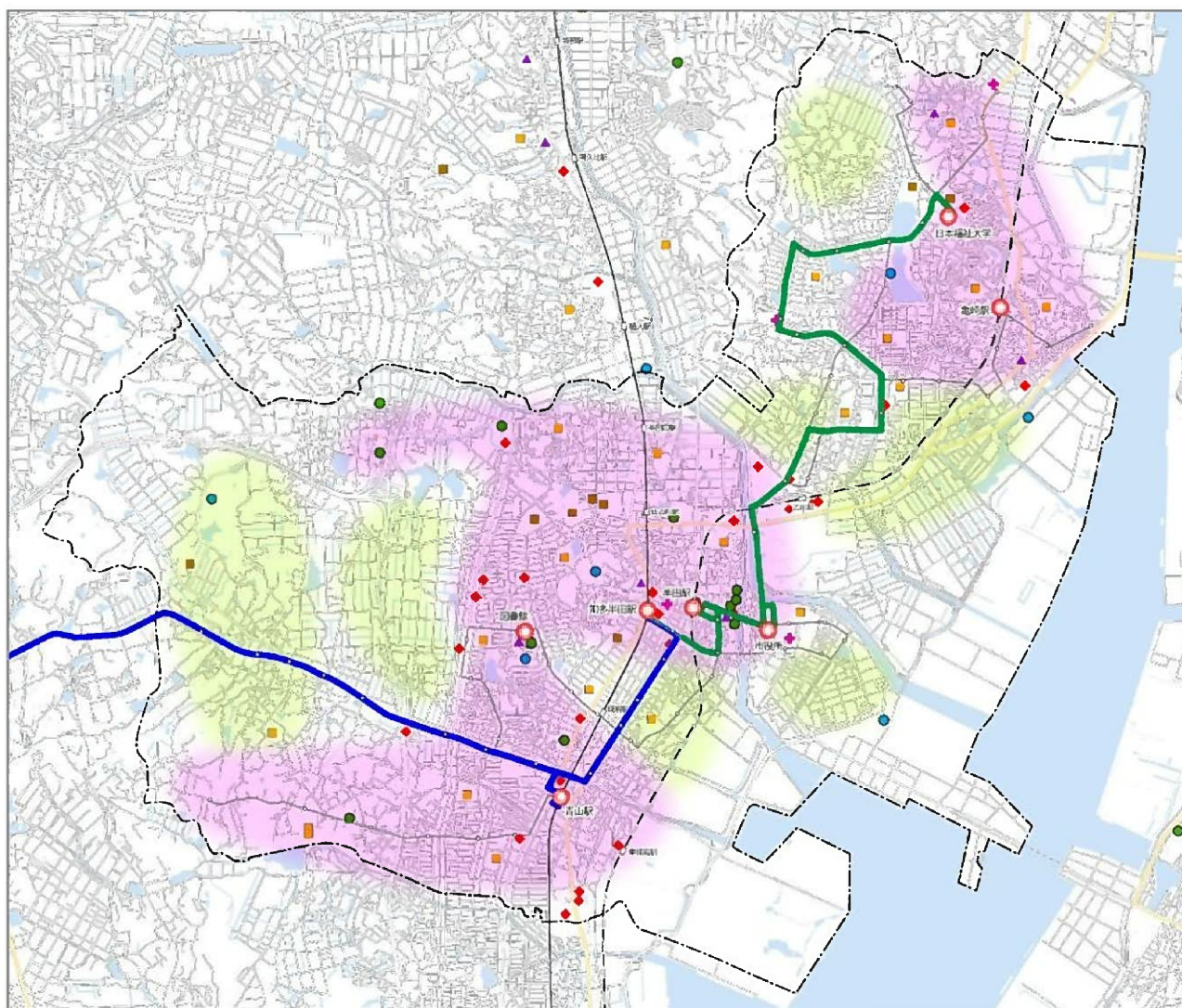


図 地域公共交通ネットワークの再編イメージ



- 凡 例
- 観光施設
 - ✚ 病院
 - ◆ 大規模商業施設
 - 高校・大学
 - 小学校・中学校
 - ▲ 公共施設
 - 公園

- 凡 例
- 基幹路線
- 常滑線
 - (仮称) 北部幹線
- 地区路線 A
- 対象エリア
- 地区路線 B
- 対象エリア
 - 交通結接点
 - 既設バス停
 - 現行路線
 - 駅
 - ≡ 鉄道

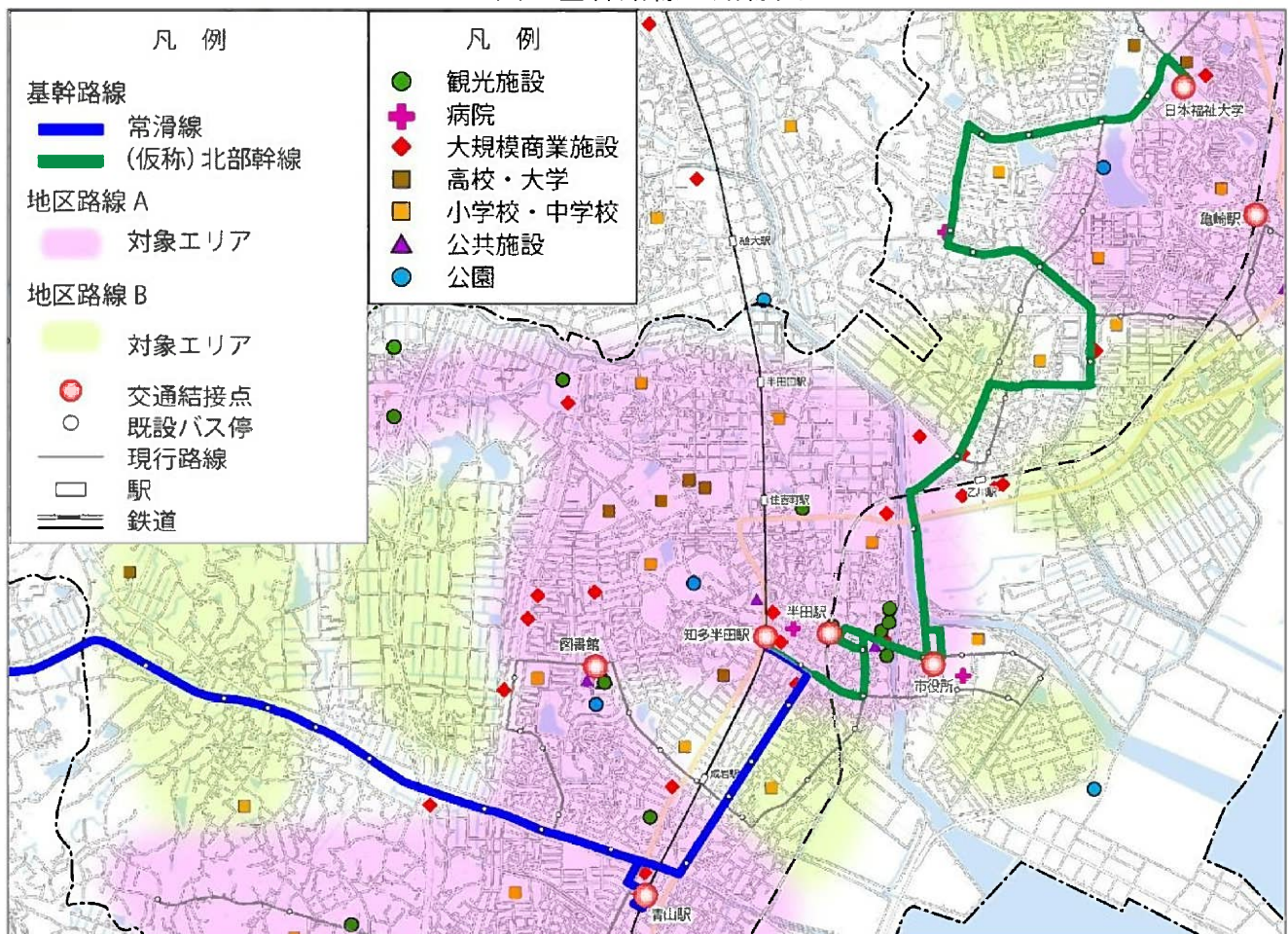
2) 基幹路線の計画

基幹路線について、路線機能及びサービス確保の考え方にに基づき、基幹路線の運行概要を整理します。

表 基幹路線の運行概要

路線名	主な経由地	運行日	運行時間帯	運行頻度	料金
常滑線	知多半田駅、青山駅、板山、常滑駅、常滑市役所前、常滑市民病院、中部国際空港	毎日	6～21時台	概ね30分に1本	半田市内は上限200円の対キロ制運賃 常滑市内区間は対キロ制運賃
(仮称)北部幹線	知多半田駅、半田駅前、市役所前、一ノ草病院前、上池、日本福祉大学	毎日	6～21時台	概ね30分に1本	上限200円の対キロ制運賃

図 基幹路線の路線図



3) 地区路線 A の計画

地区路線Aについて、路線機能及びサービス確保の考え方に基づき、基幹路線の運行概要を整理します。なお、運行内容（ルート、バス停、ダイヤ）の検討にあたっては、地域住民と半田市が協働で取り組みます。

表 基幹路線A「(仮称) 亀崎・有脇線」の運行概要

路線名	主な経由地	運行日	運行時間帯	運行頻度	料金
(仮称) 亀崎・有脇線	亀崎駅、亀崎小学校、トライアル半田店、亀崎図書館、日本福祉大学、緑ヶ丘、知多リハビリテーション病院、平地町	毎日	6～21時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金

図 (仮称) 亀崎・有脇線の路線図

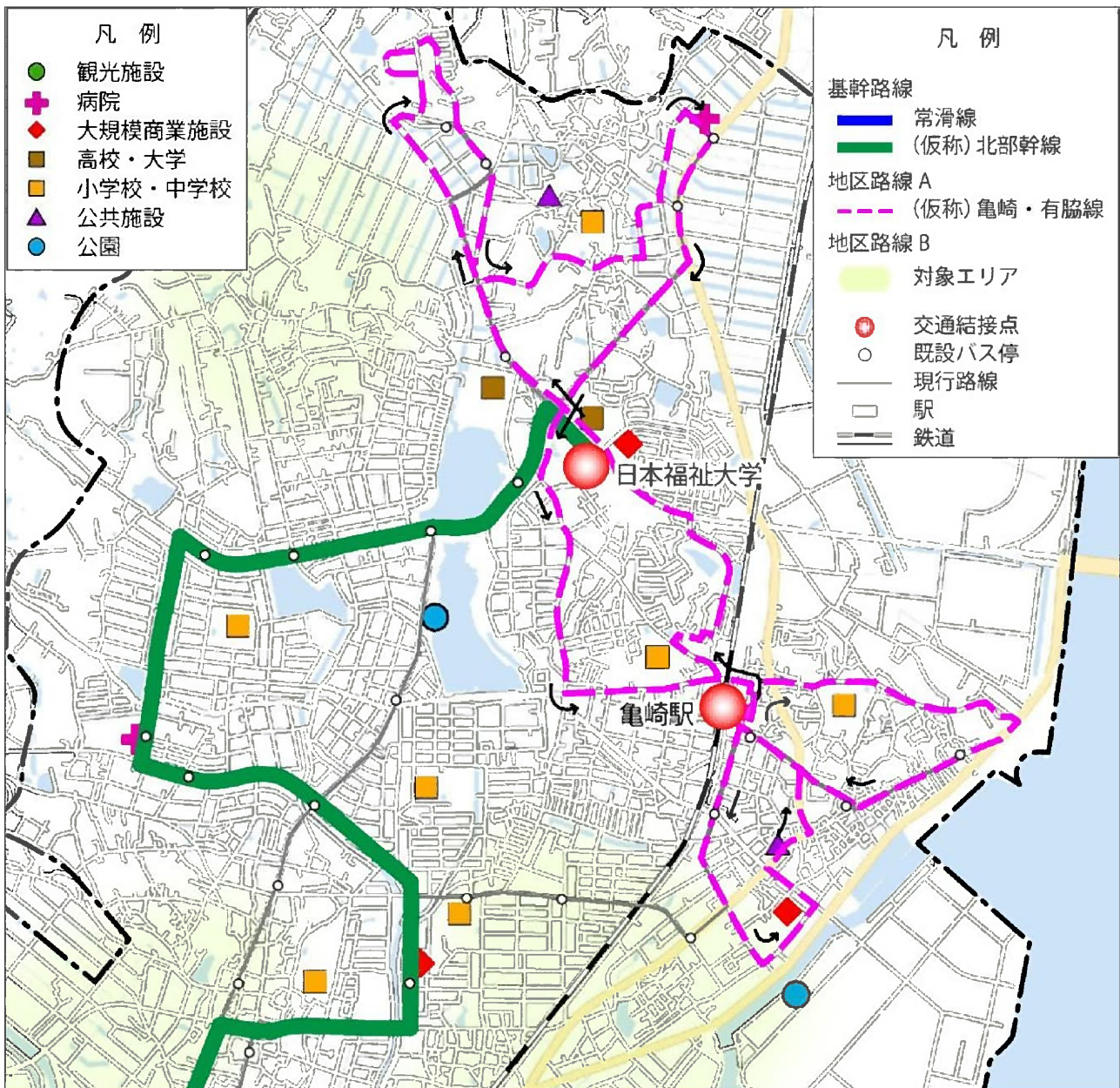


表 基幹路線A「(仮称) 青山・成岩線」の運行概要

路線名	主な経由地	運行日	運行時間帯	運行頻度	料金
(仮称) 青山・成岩線	青山駅、花園小学校前、君ヶ橋住宅、イオン半田店、図書館、宮本住宅、青山中学校	毎日	6～21時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金

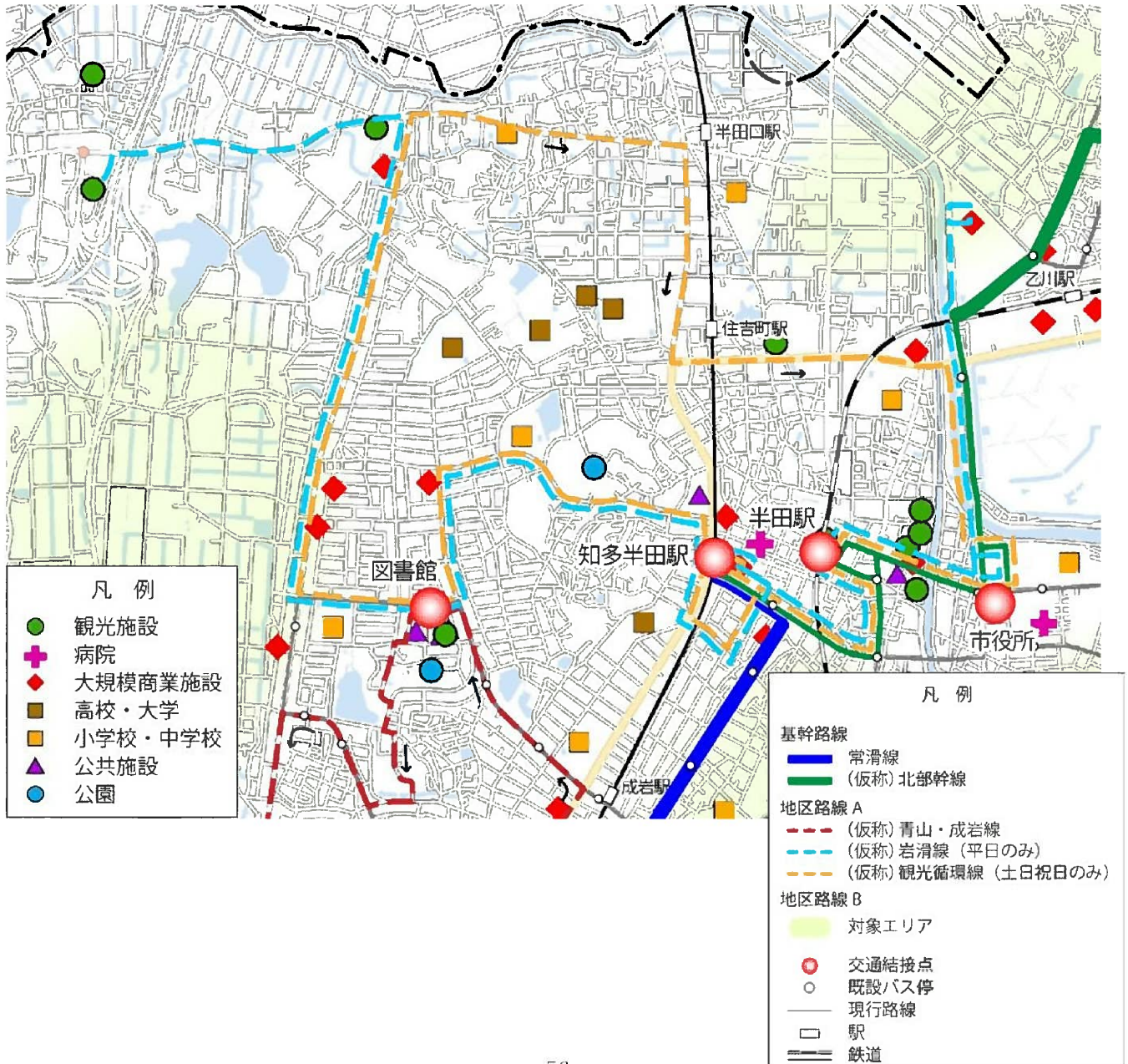
図 (仮称) 青山・成岩線の路線図



表 基幹路線A「(仮称)岩滑線」「(仮称)観光循環線」の運行概要

路線名	主な経由地	運行日	運行時間帯	運行頻度	料金
(仮称)岩滑線	パワードーム半田、市役所、半田駅前、知多半田駅、刈宿ホール、図書館、新美南吉記念館、ごんぎつねの湯	平日	6～21時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金
(仮称)観光循環線	知多半田駅、刈宿ホール、図書館、新美南吉記念館、赤レンガ建物、市役所前、半田駅前	土日祝日	6～21時台	概ね60分に1本	1乗車100円の均一料金

図 (仮称)岩滑線・(仮称)観光循環線の路線図

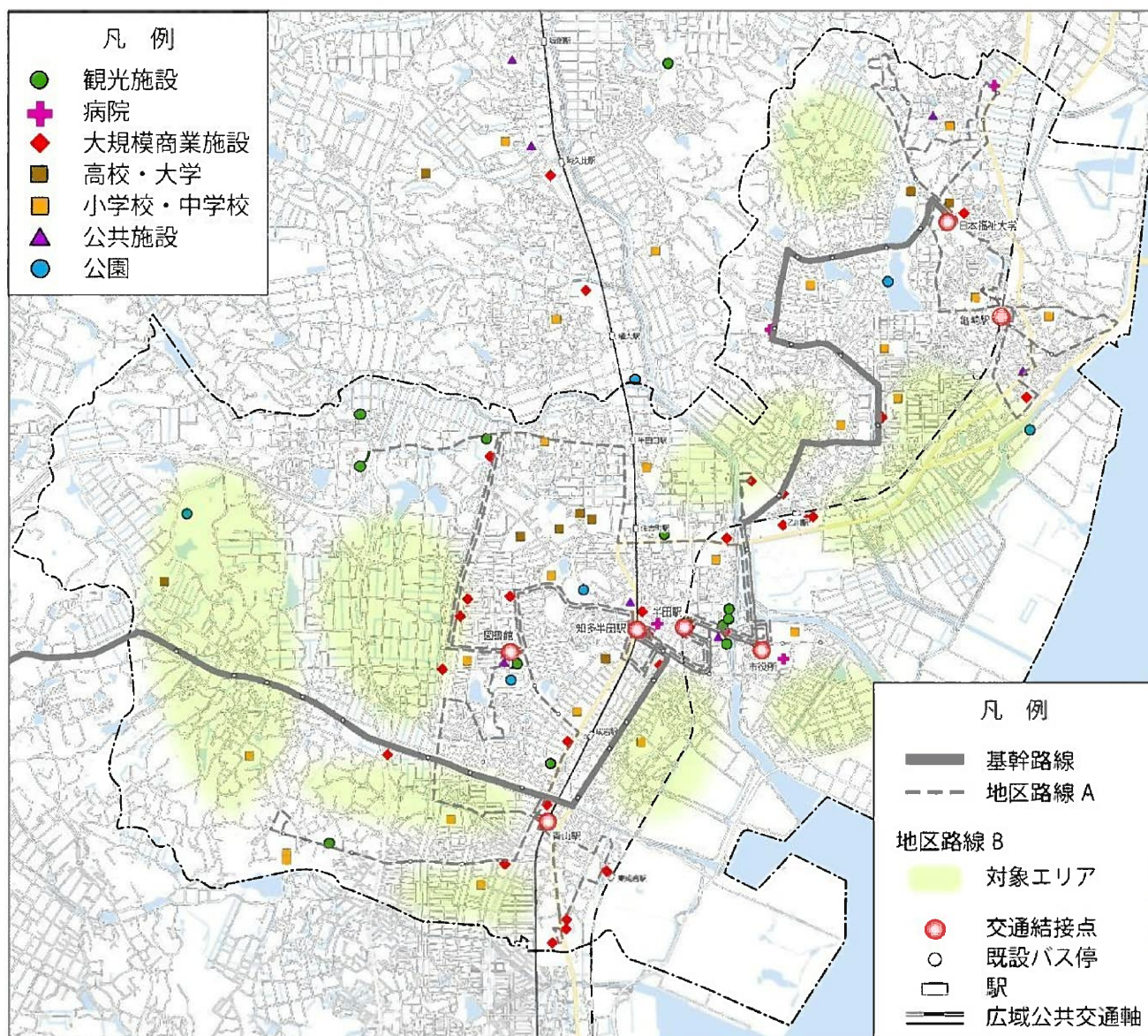


4) 地区路線Bの計画

広域公共交通軸、基幹路線、地区路線Aが運行されない地域のうち地区路線Bの導入に向けた地域住民の合意形成が図れた地域においては、地域住民が主体となって地区路線Bの導入及び運営を実施します。

地区路線Bの導入及び運営にあたっては、地域住民が主体的に取り組むための組織として、特定の地域ごとに（仮称）地区バス会を立ち上げ、半田市や交通事業者の支援の下、路線の導入及び運営に必要な各種取り組みや利用促進策を実施します。

図 地区路線Bの対象エリア



※図中の対象エリアにかかわらず、地区路線Bの導入に向けた地域住民の合意形成が図れた地域であれば、地区路線Bの導入は可能

図 (仮称) 地区バス会の取り組み内容

住民が主体的に実施

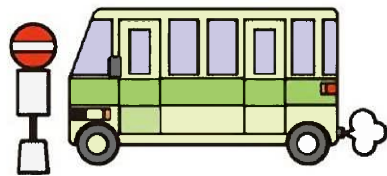
(1) (仮称)地区バス会の立ち上げ

- ▶ 住民の有志（町内会や自治会等）が集まって、地区のバスについてみんなで考える「(仮称) 地区バス会」を立ち上げます。



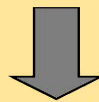
(2) 試験運行の検討

- ▶ お出かけする際のお困りごとを調べ、地区の交通問題を把握します。
- ▶ バスのルートやダイヤ等、どのようなバスを走らせるか検討します。



(3) 試験運行の実施

- ▶ 地区の皆さんに利用してもらえよう、事前にPRをします。
- ▶ 試験運行としてバスを運行します。



評価・検証及び見直し

半田市との連携

交通事業者との連携



5) 交通結節点機能の充実

交通将来像の実現にあたっては、公共交通の各路線によるサービスの提供に加え、公共交通相互の連携強化が必要です。ここでは、公共交通の複数路線が乗り入れ、相互の乗り継ぎを推奨する駅及びバス停を「交通結節点」と設定し、乗継環境や待合環境の充実に図ります。

表 交通結節点を充実させるための取り組み

対象となる交通結節点	知多半田駅、半田駅、青山駅、日本福祉大学、亀崎駅、図書館、市役所
待合環境の充実	● ベンチや待合施設を整備
乗継への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 同時に複数台のバスが待機するスペースを確保 ● 遅延時におけるバス待ちルールを設定 ● パーク&バスライド用の駐車場を整備 ● サイクル&バスライド用の駐輪場を整備 ● タクシー待ちスペースを確保
乗継案内の提供	● 乗り継いで行くことができる「目的地」や「乗継先の路線」に関する情報を提供
乗継抵抗の軽減	● 極力短い時間で乗継が可能となるダイヤを設定

図 交通結節点の位置

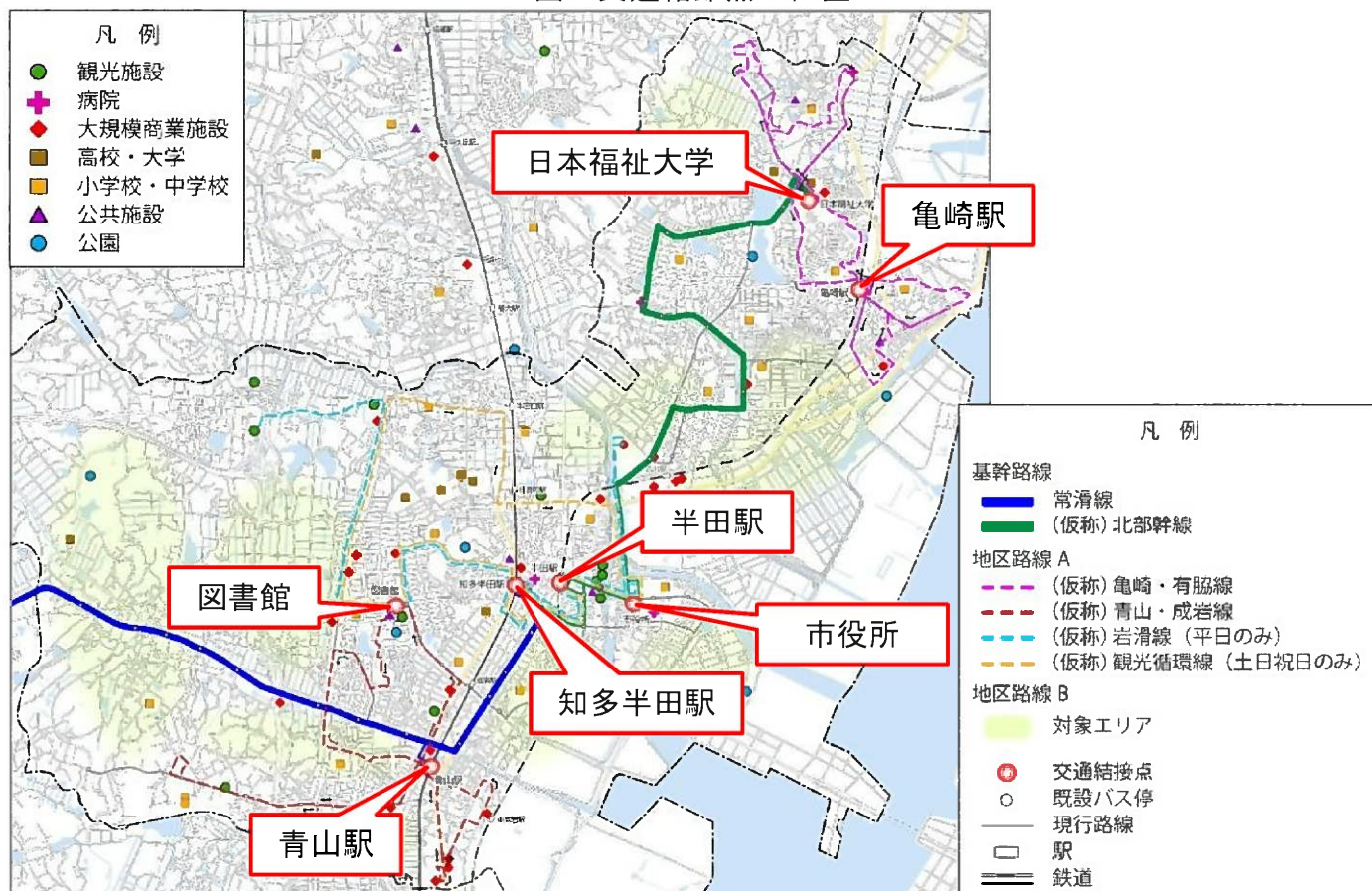


表 各交通結節点での主な取り組み

知多半田駅

- 待合環境の整備
- 乗継情報の提供
- 乗継が可能となるダイヤ設定
- 路上でのバス停表示
- バス走行車線の表示

既存の施設を活かした整備



青山駅

- 待合環境の整備
- 乗継情報の提供
- 乗継が可能となるダイヤ設定
- 駅前ロータリーの整備
- 路上でのバス停表示
- バス走行車線の表示

常滑線の新規乗入れに対応



<p>日本福祉大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 待合環境の整備 ➤ 乗継情報の提供 ➤ 乗継が可能となるダイヤ設定 ➤ バスロータリーの新設 	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: auto;"> 乗継拠点として新規整備 </div> 
<p>図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 待合環境の整備 ➤ 乗継情報の提供 ➤ 乗継が可能となるダイヤ設定 	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: auto;"> 待合環境の充実 </div> 
<p>半田駅 亀崎駅 市役所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗継情報の提供 ➤ 乗継が可能となるダイヤ設定 	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: auto;"> 乗継情報の充実 </div>

(3) 公共交通の利用促進施策

地域の公共交通として愛され、親しまれるとともに、利用が楽しく、次も利用したくなる環境づくりを進めるため、交通事業者や半田市とともに、市民、自治会、各種団体等の地域公共交通に関わる全ての関係者が協働で各種利用促進施策を実施していきます。

1. 利用者目線のわかりやすい情報提供

① 公共交通利用に係る積極的な情報提供

具体的な取り組み		実施主体				
<ul style="list-style-type: none"> 総合交通マップやポケット時刻表等の作成 		半田市 交通事業者				
【取組事例：公共交通を網羅したマップ（岐阜県各務原市）】 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を網羅した公共交通マップを作成 マップ上には、乗継拠点、乗り入れ路線を表記 						
		<p>那加線、稲羽線、川島線、 蘇原線、名鉄線に乗継</p>				
13	小綱西口	646	9:28	12:33	15:33	
12	内藤記念くすり博物館	—	9:31	12:36	15:36	
11	スポーツ公園前	647	9:33	12:38	15:38	
10	消防学校前	649	9:35	12:40	15:40	
6	松本	653	9:39	12:44	15:44	
7	松本町2丁目	654	9:40	12:45	15:45	
6	川崎重工ホッケースタジアム前	655	9:41	12:46	15:46	
9	航空宇宙科学博物館	着	6:57	9:43	12:48	15:48
		発	7:00	9:46	12:51	15:51
8	川崎重工ホッケースタジアム前	7:02	9:48	12:53	15:53	
7	松本町2丁目	7:03	9:49	12:54	15:54	
6	松本	7:04	9:50	12:55	15:55	
5	北上中屋	7:06	9:52	12:57	15:57	

資料：各務原市ホームページ

② わかりやすいバス系統やバス停名の表示

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> バス停やバス車両への表示 最寄り施設がわかるバス停名の設定 	半田市 交通事業者
<p>【取組事例：わかりやすさに配慮した乗り場案内（しずてつジャストライン）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線図、経由地、時刻表等を 目線の流れに沿って表示 情報を集約し、過不足なく情報を提供 <div data-bbox="582 504 1428 1153" style="text-align: center;"> </div> <p>資料：中部運輸局「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集」</p>	

③ 乗り継ぎの不安を解消する案内表示

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 乗継路線や乗継先の目的地に関する案内 乗継しやすいダイヤの設定 	半田市 交通事業者
<p>【取組事例：行き先案内を床に表示（三重県鳥羽市）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ場所にサイン表示を整備 床に行き先案内を表示 <div data-bbox="925 1467 1420 1960" style="text-align: center;"> </div> <p>資料：中部運輸局「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集」</p>	

2. 公共交通への利用転換

① 企画切符の導入

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設と連携した企画切符の導入 商業施設と連携した企画切符の導入 1日乗車券の導入 	半田市 交通事業者 関係団体
<p>【取組事例：いいかも！半田キャンペーン（名古屋鉄道）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋鉄道は半田市と協力してキャンペーンを実施 地元でのランチや赤レンガ建物の入場券と名鉄電車の往復乗車券がセットになった切符やビール等の地元商品がもらえる切符を発行 <div data-bbox="890 495 1390 1196" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">資料：名古屋鉄道ホームページ、半田市観光協会ホームページ</p>	

② 免許返納に向けた制度の新設

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者に対する公共交通利用の特典 	半田市
<p>【取組事例：公共交通を網羅したマップ（愛知県春日井市）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転免許の自主返納者に対し、運転免許自主返納カードを発行 カードの提示で春日井シティバスの運賃が割引 <div data-bbox="480 1608 1136 1968" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>はあとふるライナー 運転免許自主返納者カード</p> <p>かすがいシティバス</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;">氏名</div> <p style="text-align: right;"> 春日井市 </p> </div> <p style="text-align: right;">資料：春日井市ホームページ</p>	

③ 公共交通利用に向けた意識転換

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定地域や転入者を対象とした情報ツールの作成 	半田市 地域 交通事業者
<p>【取組事例：転入者向けPR（静岡県浜松市）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者に対し、路線図、時刻表、啓発冊子、バスの乗り方案内を配布 ・ 啓発冊子では健康や交通安全の側面から公共交通利用のメリットを掲載 <div data-bbox="783 495 1414 1066" data-label="Image"> </div> <p>資料：中部運輸局「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集」</p>	

④ 待合・乗降環境の充実


具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停におけるベンチや屋根の整備 ・ 商業施設や公共施設でのバス待合所の整備 ・ バス停付近の段差解消 	半田市 交通事業者
<p>【取組事例：商業施設と連携した待合室（北海道運輸局）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川市内の6商業施設にてバスの待合場所を確保 ・ 待合場所にバスの時刻表やバスロケーションシステムの表示モニターを設置 ・ 待合場所の目印としてステッカーを貼り付け <div data-bbox="667 1648 932 2011" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="991 1413 1445 2011" data-label="Image"> </div> <p>資料：旭川市地域公共交通会議平成28年度第2回資料6</p>	

3. バスに対する愛着の向上

① 関係団体との連携によるバス利用促進

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方教室の開催 ・モデルルートを作成・周知 ・イベント実施時のバス利用促進 ・沿線イベントとの協賛 	関係団体 半田市 交通事業者
【取組事例：小学生を対象としたバスの乗り方教室（愛知県豊橋市）】 ・小学生の総合学習の一環として、出前講座とバスの乗り方教室を実施	
	
資料：豊橋市ホームページ	

② 地域企業によるバス利用促進

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業とのタイアップ ・通勤時のバス利用促進 ・バス車内での広告掲示 ・バス停のネーミングライツ 	地域企業 半田市 交通事業者
【取組事例：地元商店とタイアップしたラッピング（愛知県日進市）】	
<ul style="list-style-type: none"> ・市と地元の商店がタイアップし、商品のラッピングにバスの絵柄が印刷された紙箱を使用 	
資料：日進市地域公共交通会議平成27年度第6回資料	

③ 高校や大学と連携したバス利用促進

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・バスを利用した通学の呼びかけ ・バスを利用したアクセス方法の掲載 	高校・大学 半田市 交通事業者
<p>【取組事例：入学説明会時に通学方法を紹介（岐阜県郡上市）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校入学説明会時に行政と交通事業者がブースを設置 ・定期券制度や公共交通を利用した通学方法を紹介 ・乗継時刻表や無料乗車券を配布 <div data-bbox="874 488 1353 1010" data-label="Image"> </div> <p>資料：中部運輸局「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集」</p>	

④ 地域住民主体によるバス利用促進

具体的な取り組み	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・バス車内での絵画展の開催 ・バス停周辺の清掃 ・バスを利用した地域活動の開催 ・地域での回数券の購入 	地域 半田市 交通事業者
<p>【取組事例：バスギャラリーの実施（愛知県東浦町）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス車内に保育園児が描いた絵を掲示 ・季節のイベントに合わせて定期的に実施 <div data-bbox="189 1559 778 1946" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="815 1550 1417 1946" data-label="Image"> </div> <p>資料：東浦町ホームページ</p>	

(4) 事業の実施スケジュールと実施主体

本計画で実施する各事業の実施スケジュールと実施主体を整理します。

表 事業の実施スケジュールと実施主体

事業名	内容	<input type="checkbox"/> 事業実施準備・検討 <input type="checkbox"/> 試行運行・事業見直し等 <input type="checkbox"/> 事業実施										実施主体
		H30		H31		H32		H33		H34		
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
1. 基幹路線	基幹路線の再編	常滑線 (青山駅への乗り入れ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通事業者(半田市の補助)
		(仮称)北部幹線 (路線の再編)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通事業者(半田市の補助)
2. 地区路線	地区路線Aの再編・新設	(仮称)亀崎・有脇線 (路線の再編・新設)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域・交通事業者
		(仮称)青山・成岩線 (路線の再編・新設)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域・交通事業者
		(仮称)岩滑線 (路線の新設、平日のみの運行)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域・交通事業者
		(仮称)観光循環線 (路線の新設、土日祝日のみの運行)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域・交通事業者
	地区路線Bの導入	地区路線B (路線の新設)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域・半田市・交通事業者
3. 料金体系	運賃の見直し・割引制度の導入	基幹路線は対キロ制運賃(上限200円)、地区路線A・Bは均一料金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
4. バス車両	環境対策・バリアフリー化	バス車両の改善(低公害型車両、ワンステップバス、ノンステップバス、低床バス等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
5. 交通結節点	交通結節点整備	知多半田駅、青山駅の整備(利便性向上、バス停付近の路面標示等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
		日本福祉大学バス停の整備(バスロータリー整備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・日本福祉大学・交通事業者	
		図書館バス停の整備(待合施設整備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
6. 公共交通利用促進	利用者目線によるわかりやすい情報の提供	公共交通利用に係る積極的な情報提供(総合交通マップ等の作成)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
		わかりやすいバス系統・バス停名の表示(バス停やバス車両への表示等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
		乗り継ぎの不安を解消する案内表示(乗継路線や乗継先の目的地に関する案内等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
	公共交通への利用転換	企画切符の導入(観光施設と連携した企画切符の導入等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者・関係団体	
		免許返納に向けた制度の新設(免許返納者に対する公共交通利用の特典)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市	
		公共交通利用に向けた意識転換(特定地域や転入者を対象とした情報ツールの作成等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域・交通事業者	
		待合・乗降環境の充実(バス停におけるベンチや屋根の整備等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・交通事業者	
	バスに対する愛着の向上	関係団体との連携によるバス利用促進(バスの乗り方教室の開催)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	関係団体・半田市・交通事業者	
		地域企業によるバス利用促進(地域企業とのタイアップ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域企業・半田市・交通事業者	
		高校や大学と連携したバス利用促進(バスを利用した通学の呼びかけ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高校・大学・半田市・交通事業者	
地域住民主体によるバス利用促進(バス車内での絵画展の開催等)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域・半田市・交通事業者		
7. 評価体制	行政主体の取り組み	個別事業の評価検証、改善点の検証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域(代表)・交通事業者等	
8. 推進体制	住民主体の取り組み	(仮称)地区バス会の立ち上げ・運営	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域・半田市・交通事業者	
	行政主体の取り組み	地域公共交通会議の開催(地域公共交通網形成計画および再編実施計画の策定、個別事業の推進、地域公共交通網形成計画の評価、改訂)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	半田市・地域(代表)・交通事業者等	

9. 計画の達成状況の評価に関する事項

(1) 評価の考え方とスケジュール

本計画で実施する事業は、事業計画、事業実施、評価・検証、改善策の検討といったPDC Aサイクルを毎年繰り返し実施することで、より良い公共交通を実現します。また、実施した事業の効果や目標の達成状況の評価結果及び改善に向けた取り組み内容を市民等へ公表し、関係者間で共有することで改善につなげていきます。

表 評価のスケジュール

		実施予定年度																					
		H29	H30			H31			H32			H33			H34			H35					
半田市地域公共交通網形成計画の策定 (Plan)		● 計画策定																		● 計画改定			
事業の実施 (Do)	個別事業の計画 (Plan)	● 事業内容の確定				● 事業内容の確定				● 事業内容の確定				● 事業内容の確定				● 事業内容の確定					
	個別事業の実施 (Do)		● 事業の実施			● 事業の実施				● 事業の実施				● 事業の実施				● 事業の実施					
	個別事業の評価検証 (Check)			● 事業評価			● 事業評価				● 事業評価				● 事業評価				● 事業評価				
	個別事業の改善点の検証 (Action)			● 見直し検討			● 見直し検討				● 見直し検討				● 見直し検討				● 見直し検討				
ネットワーク全体での評価検証 (Check)									● (評価のためのニーズ調査)			● (評価検証)			● 評価のためのニーズ調査			● 評価検証					
半田市地域公共交通網形成計画の見直し (Action)															● 計画検討			● 評価結果反映					
半田市地域公共交通会議の開催時期と協議事項		● 事業内容の協議				● 事業の評価検証	● 事業内容の協議				● 事業の評価検証	● 事業内容の協議				● 事業の評価検証	● 調査内容の協議	● 調査結果の報告	● 事業の評価検証	● 計画の評価検証	● 計画素案の協議	● 計画素案の協議	● 計画の議決

<評価・検証の流れ>

- ①本計画の評価・検証、改善策の検討は、半田市地域公共交通会議で実施
- ②毎年、各事業の実施状況や目標値の達成状況の評価・検証
- ③目標値が達成できていない場合は、その要因を分析し、改善策を検討
- ④目標年次の平成34年度を最終年度として、上位関連計画の見直し等を踏まえ、半田市地域公共交通網形成計画の見直しを実施

(2) 評価における目標値

評価の考え方及び評価・検証スケジュールに基づき、本計画の目標及び目標値を用いて評価を実施します。

表 目標及び目標値と評価スケジュールの関係性

基本方針	目標	目標値	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
【交通将来像】 「おでかけ環境 が充実した 住 み続けたいまち 半田」	【全体目標】 「おでかけ環 境が充実した 住み続けたい まち半田」の 実現	【目標値】 市内公共交通利用者 数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
		【目標値】 普段の生活の中で公 共交通を利用する人 の満足度の向上	—	—	○	—	◎
【基本方針1】 半田市の一体性 の強化及び観光 資源を回遊でき る公共交通ネッ トワークの再編	【目標1】 公共交通が多 様な目的で利 用されます。	【目標値1】 普段の生活の中で公 共交通利用を利用す る人の割合の増加	—	—	○	—	◎
		【目標値1】 観光資源へ行く際に 公共交通を利用する 人数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針2】 半田メインスト リートにおける 公共交通サービ スの充実	【目標2】 公共交通が中 心拠点への来 訪手段として 利用されま す。	【目標値2】 中心拠点内へ来訪す る際に公共交通を利用 する人数の増加	◎	◎	◎	◎	◎
【基本方針3】 各生活圏のおで かけニーズに対 応した公共交通 サービスの確保	【目標3】 地区路線が普 段のおでかけ で利用されま す。	【目標値3】 公共交通で目的地に 行くことができる割 合の増加	—	—	○	—	◎
【基本方針4】 関係者が連携・ 協働し公共交 通を支え育む仕 組みの構築	【目標4】 公共交通への 関心や愛着が 高まります。	【目標値4】 地域が関係者と連 携・協働した取り組 みの件数	◎	◎	◎	◎	◎

◎：該当年度に評価を実施

○：必要に応じて該当年度に評価を実施